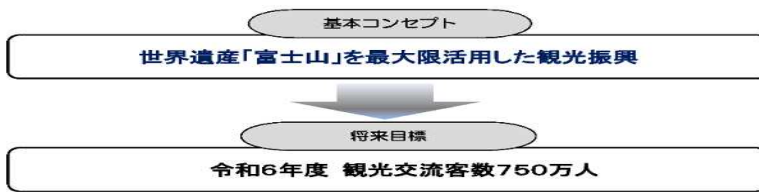


第1次観光基本計画の施策内容と評価

1. 第1次観光基本計画の施策内容と評価



【観光交流客数の推移について】

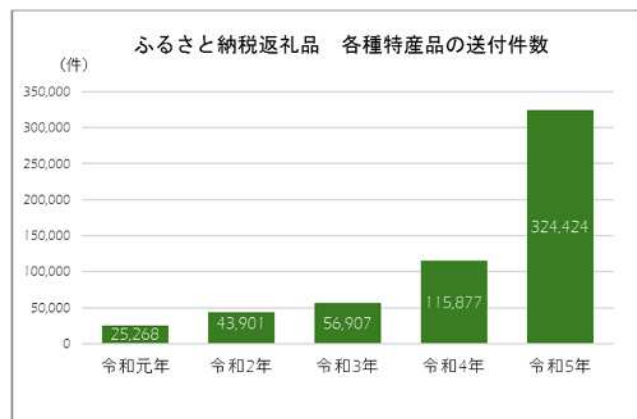
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観光交流客数	6,731,497	6,585,477	5,097,972	5,238,742	6,148,338	6,728,347
宿泊客数	579,578	551,420	385,135	467,210	579,904	657,454



各施策の主な実績

1. 産業資源の活用

- 「田子の浦しらす」を観光資源と捉え、田子の浦漁港や富士山しらす街道の活性化を進めました。田子の浦港漁協食堂の来場者数は新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度を除き、6万人前後で推移しています。
- ブルーベリー狩り、さつまいも堀りなどの観光農園活用の取り組みを行いました。
- 全国工場夜景都市協議会に加盟し、「全国工場夜景サミット」に参加しPRするなど、工場夜景の認知向上に取り組みました。
- ふるさと納税返礼品の件数が顕著な伸びを見せ、特産品のPRに貢献しています。
- 「夜景電車（名月電車）」の開催支援など岳南鉄道の観光活用を進めています。



第1次観光基本計画の施策内容と評価

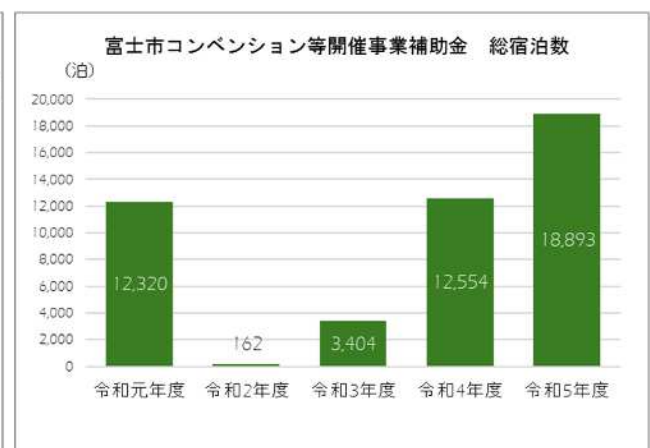
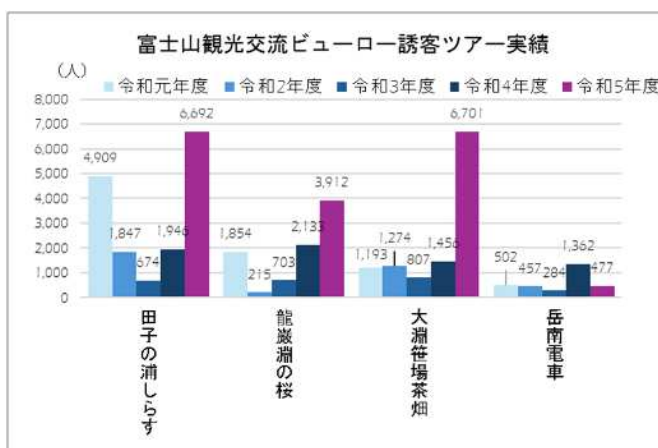
2. 富士山の眺望と文化の活用

- 富士山百景写真コンテストの応募点数は、オンライン応募に変更した令和3年度に2,650件に達し、令和4年度も2,848件と過去最高となりました。
- 富士山登山ルート3776の達成者数は、令和元年まで順調な伸びを見せていましたが、令和2、3年度は新型コロナウイルス蔓延の影響を直に受けました。その後、令和4年度には令和元年度並みまで回復、令和5年度には前年度の倍以上・過去最高の1,316人となりました。



3. おもてなしの推進

- 富士山観光交流ビューローによるツアー誘客では、田子の浦しらす、龍巖淵の桜、大淵笹場茶畑、岳南電車が人気で、令和3年度から令和4年度にかけてコロナ禍が明け、いずれも大幅に増加しました。令和5年においては、岳南電車以外のツアーは、更に来訪者が急増しました。
- 富士市コンベンション等開催事業補助金を活用した宿泊について、令和4年度からは「合宿」も補助対象に加えたことも影響し、令和5年度の宿泊数は前年度宿泊数の1.5倍：18,893泊に達しました。



第1次観光基本計画の施策内容と評価

4. 歴史・自然の活用

- 世界文化遺産の富士山と岩本山公園の眺望を活用したイベント「絶景★富士山 まるごと岩本山」の来場数は、令和元年以降8万人台を維持しています。
- 平成28年度から「バンジージャンプ事業」による須津川溪谷の効果的活用を進めました。平成30年度からは、ナイトバンジーの開催に合わせた大棚の滝ライトアップも行っています。



5. スポーツ交流の推進

- 「富士山女子駅伝」の継続開催に加え、「東京オリンピック」「ウルトラトレイル・マウントフジ」など、スポーツイベントやスポーツ合宿の誘致を行いました。
- 新富士駅観光案内所へのE-BIKEの設置、サイクルステーション「ふじくる」の開設など、富士山サイクルロードレースの開催など、サイクルツーリズムを推進しています。

6. 観光インフラの整備

- 龍巖淵への仮設トイレと観覧エリア設置や、富士山夢の大橋周辺に自家用車用駐車場を整備するなど観光スポットの受入環境の向上策を進めました。
- 毘沙門天大祭、まるごと岩本山開催期間の無料シャトルバス運行や、コロナ禍においてはタクシーを利用したマイクロツーリズム推進補助金の活用など、観光スポットへのアクセス向上策を進めました。
- 富士山登山ルート3776事業におけるデジタルマーケティングの実施、富士川楽座・道の駅富士専用アプリの運用開始などICTを活用した取組を行いました。
- 道の駅や市内観光看板の計画的な施設改修と活用を継続して行っています。

7. 広域連携の強化

- 県の観光協会や関係する協議会が開催する観光展に出展しました。
- 県の海外事務所と連携し、海外の観光展への出展やエージェンツセールスを実施しました。
- 静岡県が主導したアニメ『ゆるキャン△ SEASON2』放送に伴う観光PR企画に協力しました。
- 静岡県に縁のある大河ドラマの放送期間において、県と連携しPR事業に協力しました。